



<1>

老人福祉施設 祥雲館

平成21年1月11日

# 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。平素は、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、去年は、地域の皆様のニーズにお答えできる施設づくりを行うべく、新館を建設し、運営を開始することができました。これも一重に、地域の皆様方のご理解とご協力の賜物と感謝いたしております。

また、現在、ユニットケアを取り入れるべく施設改装計画と職員研修を進めております。私たちは、利用者の皆様の生活を支え、地域貢献できる社会福祉法人として、日々研鑽してまいります。

皆様方からの積極的なご意見・ご指導と共に、あらためて、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 桃林会 祥雲館 施設長 小林 修

# 笑雲

第40号  
発行  
平成21年1月11日

## 祥雲館

社会福祉法人 桃林会

〒563-0101  
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1

TEL:072-733-2301

FAX:072-733-2303

### 周辺案内図



## 特養ホームを変えよう!

||ごく普通の暮らしを求めて||

祥雲館では、平成二十一年に、よりゆとりのある介護の実現を目的として、現在の特養ホームを改修し、ユニット型化を計画しています。

従来の特養ホームとは、家庭での介護が難しい重度の高齢者が、施設で集団的な介護を受ける場です。要介護高齢者を、集団で専門的な知識をもった職員がケアをするため、専門的なケアが効率的にできるという特徴があります。しかし、特養ホームは、『効率性とゆとり』という自己矛盾を抱えて



います。例えば、現行の特養では、朝ご飯を数十人の全員が揃って、いつも8時に食べます。入浴も起床や就寝の時間も例外ではありません。確かに、入浴や食事の介護を計画的に行うことは、少ない人手で多人数を介護するには有用です。しかし、何もかも予め決められた介

護には、利用者も介護者もゆとりを感じられませんが、どんなに専門的に真心をこめてケアをしても、このゆとりのなさは、解消されません。ここに介護が単なる作業に陥りやすくなる集団生活の限界があるのです。

この効率性とゆとりの矛盾を解くカギとして、特養のユニット型化(比較表参照)があります。ユニット型とは、大多数の利用者を、大多数の介護者がケアするのではなく、少数対少数の利用者と介護者の関係(ユニット)を築くことです。高い密度の利用者の思いや情報を基に介護を行うことが可能になります。集団生活の効率性を損なわず、利用者個々が自分で自分の生活を決められることが、可能になるのです。端的に言えば、バックツァーの団体旅行で決められた旅程に合わせて、あくせくするより、フリープランで馴染みの者と旅する方がずっと楽しいでしょう?

これらのユニット型にも、いくつかの問題はあります。個室料が相室利

用に比べて割高であること、利用者や介護者との関係が近づき過ぎることによるトラブルもあります。しかし、これこそごく普通の生活を送る者こそが味わえる自由の裏にある苦悩ではないでしょうか。

家庭での介護が限界にすれば、あなたは『ごく普通の暮らし』を放棄しますか? 祥雲館は、ごく普通の暮らしを少しでもたぐりよせるために、特養ホームを一部ユニット化する決意を固めました。

	特別養護老人ホーム	
	従来型 (H13年頃)	ユニット型 (予想)
グループの人数	概ね75名	概ね10名
介護観の違い	流れ作業的・効率的	個別的・非効率的
利用者の部屋	個室と相室 (2~4人)	個室のみ
利用料	安い	高い



## 祥雲館アーカイブ

祥雲館で最近起きたことを紹介します。  
当館ホームページのInformation欄からの抜粋です。

- ◆2008.11
  - 利用者・職員のインフルエンザ予防接種を行いました。
- ◆2008.11.5
  - 特養ホームに歯科往診（北摂あいデンタルクリニック）がありました。
- ◆2008.11.6
  - 吉川中学1年生がフィールドワークで来館されました。
- ◆2008.11.9
  - 広報紙「笑雲」第39号を発行しました。
- ◆2008.11.12
  - 職員研修「疾病の理解」を実施しました。
- ◆2008.11.14
  - 摂津保育園・第2とりかい保育園の園児が来館されました。
- ◆2008.11.18
  - 職員研修「介護事故」を実施しました。
  - 特養ホーム一部ユニットケア導入についての会議を実施しました。
- ◆2008.11.23
  - ショートステイ調理レク（ホットケーキ作り）を実施しました。
- ◆2008.11.24～
  - デイみずほ外出レク「紅葉ドライブ」を実施しました。
- ◆2008.11.21
  - 吉川・光風台地区福祉委員が見学に来られました。
- ◆2008.12.17
  - 監査法人による会計自主監査を行いました。
- ◆2008.12.10
  - 職員研修「制度の理解」を実施しました。
- ◆2008.12.1
  - デイ食事イベント（ソフトクリーム）を実施しました。
  - 玄関フロアに「チーム自慢コンテスト作品」を貼り出しました。
- ◆2008.12.3
  - クリスマスツリーを玄関フロアに設置しました。

祥雲館のホームページは  
<http://www2.gol.com/users/syownkan/>



## 編集後記

毎年、この時期になるとこの一年の世相を表す一文字が話題になります。去年は「偽」でした。過去には「命」や「愛」というように、メッセージ色の強いものがありました。ところで、私の今年の一文字は「守」です。今秋、ありがたいことに家族が増え、父親として子供達を「守」る責任も増しました。

一方で、介護従事者として、地域の皆様の生活をいかに「守」れるか？ これからも創意工夫に励んでいきたいと思ひます。（渡部）

次回の発行は平成21年3月8日（日）です

## 紅葉だより



昨年の11月下旬ショートステイではご利用者・職員共々紅葉を見に「箕面森町」に行ってきました。

とても綺麗な紅葉でした。白黒で残念です。



顔見えにくいですが「ピース」です。



寒い日でしたが笑顔です。

この日は風が冷たかったので、少しだけ外に出てドライブしました。周りの山々は見事に色づき、紅葉をゆっくり見て帰ることができました。みなさんには好評でした。



しっかり防寒してます。

今年最後のコラムになりました。

この1年間に書いてきましたコラムの内容を振り返ってみますと、転倒予防、そのキーワード「ぬかづけ」、骨折、転倒アンケート結果の紹介、自身の運動機能を振りかえることによる注意識喚起などがありました。一貫しているのは、「自分自身のことを見つめ、振り返って考える」ということでした。

最近、新聞で紹介された本についてスタッフと話しました。それは、医療や介護場面における基本動作の援助方法を紹介した本で、その主旨は、「援助を受ける人の残存機能を見極め、把握する事によって個別の対応が可能である」というものでした。コラムで書いてきたつもり「個人（自分自身）を見つめてみる」に通ずる話です。そして、「考える」ことは、自分の体力や生活環境（ぬかづけ等）を維持改善すること

今年のコラムは今回が最後です。皆さん、少し早いですが良いお年をお迎えください！

デザイナービズセンター  
理学療法士 大西憲久 祥雲館

小林一茶  
秋風や  
あれも昔は美少年

対してのモチベーション向上のきっかけになるのではないのでしょうか？

## リハビリ豆知識

